

横浜市港北区 小泉麴屋

伝統製法で家庭に直送

創業は明治初期。4代目・小泉聡さん=写真①=は父の死後、のれんを降ろしていた家業のこうじ屋を1998年に復活させた。「会社勤めをしていましたが自分にしかできないことをと、この仕事を復活させる決意をしました。米・麦・小麦のこうじを昔ながらの製法で手作りし、それらを使った無添加のみそなども販売。「こうじ・みそは菌が生きているから」と卸売りはせず、インターネットを中心に、直接家庭に「日本の伝統の味」を届けている。

売れ筋は「あなたも味噌職人」シリーズ。つぶれた煮大豆を混ぜるだけの簡単キット。一定期間寝かせれば、おいしい手作りみそが出来上がる。中でも一番人気は「米味噌 4kgキット」(写真②、3850円)。「どの家庭にも固有の酵母や菌が家にすんでいて、家ごとに独特の味を醸し出します。だからみそ汁は「母の味、なんですよ」と小泉さん。みそは他に麦・小麦・合わせ・九州麦など。

昨年末から話題の「塩こうじ」(200g?525円)の販売を開始したが、生産が追いつかないという。米こうじ200g?と石垣の塩60g?がセットになった「塩こうじキット」(517円)も人気で、水200mlを混ぜ合わせれば約450g?が出来上がる。「塩こうじは、素材のうま味を引き出してくれる『万能調味料』。ブームで終わらせず、食卓の定番にしてほしい」。レシピの提供や講習会がそのサポートになれば、と小泉さんは話している。☆横浜市港北区菊名5の24の25。菊名駅東口徒歩10分。土日祝休み。http://www.koujiya.com



※5月まで「手作り味噌と塩こうじ講習会」(写真③)を開催。4月は満員。5月は5・9・25日(午前/午後)。各回先着8人(要申し込み。締め切りは開催日の4日前)。4350円(みそ3kg・塩こうじ450g?)、小学生1950円(みそは1kg)。詳細はHPで。

「みそソムリエ」(みそソムリエ認定協会認定)の資格を持つ小泉さんに、みその仕込み方・塩こうじの手軽な使い方を伝授してもらった。「オリーブオイルに少量の塩こうじをよく混ぜ合わせれば、即席のドレッシングに。サラダはもちろん、カルパッチョにかければ絶品ソースになりますよ」。塩こうじはオリーブオイルとの相性が抜群だそう。

★ポイント「大豆のアクをしっかり取ることで、みそにえぐみが出ません。常温のまま真夏を越すと、必ず甘くまるやかに変化し、おいしいみそになります」

米みそ

(出来上がり約3kg)

【材料】国産大豆(乾燥)700g?、米こうじ(生)1kg?、粗塩350g?

【準備するもの】保存容器、みそを混ぜる容器、ラップ

【作り方】

- ①大豆を水に一晩(12時間程度)漬けた後、ザルにあげ、水を切って鍋に移す
②鍋に大豆がかぶるくらい水を入れ、煮る。強火で煮立て、アクを取った後、弱火で5~6時間煮込む。目安は大豆を親指と薬指で持って、軽く力を入れてつぶれるぐらいいのやわらかさ。煮汁を約100ml?取っておく
③煮た大豆をビニール袋に入れつぶす。完全につぶし切らなくても大丈夫
④こうじと塩をよく混ぜ合わせた後、煮汁を少し加える。③を入れ十分に混ぜる
⑤出来上がった容器に入れ、表面は空気と触れないようラップで覆いふたをする

【熟成・保存】

3~8月仕込みは、冷房のない常温の場所で2~3カ月で食べ頃に。9~2月仕込みは暖房のある暖かい部屋で4~5カ月。

発酵食品 あれこれ

■「甘酒ジャム キャラメルクリーム」 しいの食品

(小田原市)

「パンに日本のやさしい甘さを!」と開発された、ほのかにこうじが香るキャラメルブレッド。140g?525円。原料は酒かす、バター、卵黄など。酒かすのくせのある香りは抑えられ、甘さも控えめな親しみやすい味。パンに塗りやすく、ふわっと軽い食感になっている。

「練乳の代わりにイチゴにかけるのもお勧め」と同社マーケティング推進室チーフの池田さん。

☆本社=小田原市成田939。お客様相談室フリーダイヤル(0120)485641。「しいのマルシェ(テラスモール湘南店)」など直営店ほかで販売。



■「津久井大豆のみそぱん」 尾形孝予さん

(相模原市緑区)

発酵食品の代表みそ。津久井在来大豆で造ったみそでパンを作り、昨年12月に津久井商工会が力を入れる「津久井城シリーズ」(特産品)に認定された。1個180円。

材料にこだわり小麦粉は地元産を使用、「白神こだま酵母」との相性も抜群。砂糖と合わせたみそとの素朴なハーモニーが世代を問わず人気という。発酵食独特の風味があり、かむほどに甘みが増す。「余計な物を足すことなく仕上がった自信作です」と尾形孝予さん。

☆現在購入可能なのは鳥居原ふれあいの館042(785)7300、津久井観光センター042(784)6473の2カ所。



■「花ソフトクリーム」 カフェ西語

(鎌倉市)

こくのある甘さで、舌触りの滑らかなミルクベースのソフトクリーム。サクサクとした歯応えのワッフルコーンによく合う。300円。

「体の内側からきれいに、元気に」をコンセプトに、こうじを使ったスイーツを開発。こだわりのこうじは、東北の有機米を生産する農業集団に製造を委託し、精度の高いものを使用している。甘酒をベースにバニラソフトクリームと混ぜ合わせて作った同店オリジナル。「夏場に向け新商品も考案中です」とマネジャーの三木敬子さん。

☆鎌倉市長谷1の15の15。0467(50)0801。



■久寿餅

(川崎市川崎区)

もっちりとした独自の食感が特徴の川崎大師名物。小麦粉からとれるでんぷん粉を発酵させて作られている。健康上良い効果があるかは分からないというが「和菓子唯一の発酵食といわれる久寿餅に誇りを持っています」と久寿餅専門店「住吉」4代目の森明弘さん。

江戸時代、久兵衛という人物が、ぬれた小麦粉を1年ほど放置、天保の大飢饉の際に蒸して食べたのが始まりといわれている。この久兵衛の「久」と無病長「寿」を願って「久寿餅」と名づけられた。「住吉」ほか川崎大師周辺の計6店舗で販売している。

☆久寿餅製造販売同業組合(住吉内)044(288)4437。



ギャラリー小町

ギャラリー小町

木村芳之助作陶展 20日まで、KAL IKA 2階STUDIO CARMEL(Y R P野比駅徒歩9分)。子安の里の登り窯で焼成した花器・食器など約200点。木村さん090(7905)6583。

花の饗宴展 21日まで、ギャラリーARK(石川町駅徒歩3分)。10人の花の絵画20点。045(681)6520。永田一輝作品展-やすらぎの漆芸- 22日まで、湘南画廊(藤沢駅徒歩5分)。器・箱・盆・額入作など31点。0466(27)6864。



永田一輝展から「アフリカンパラダイス」(パネル)

中神ふみ子絵画展「記憶の断片」 22日まで、相鉄ギャラリー(緑園都市駅徒歩3分)。抽象、ミクス約30点。045(813)1515。犬尾順子日本画展~光・慈愛・平和への祈り~ 23日まで、万国橋ギャラリー(馬車道駅すぐ)。動植物・鳥など約20点。045(201)8103。穴戸泉展 24日まで、ギャラリーさざれ石(大磯駅徒歩5分)。季節の変化などから生まれた心象風景、油彩・水彩約40点。0463(67)9662。

さいゆう会展 25日まで、ギャラリー一壹零参堂(鎌倉駅徒歩2分)。五百住乙人、大津英敏、北久美子、橋本幹男、関出の約15点。0467(24)5103。武田裕子展 27日まで、フェアアートギャラリー(横浜駅徒歩7分)。植物を描いた日本画17点。045(325)0081。

小さな宇宙展 28日まで、カフェギャラリーシード(相模原駅徒歩8分)。木版画15点。小作品チャリティ販売も。042(785)3533。写真展「~産める国フランス~パリの子供のいる風景」 28日まで、フォーラム南太田(南太田駅徒歩3分)。写真を、出生率が回復したフランスのミニベビーブームを紹介した書籍の文章と併せて展示。約15点。045(714)5911。

横溝和夫写真展「私の金澤・20年の記憶」 5月1日まで、ギャラリーヨコミゾ(金沢文庫駅徒歩5分)。同ギャラリー開館1周年記念展。横浜市金沢区の風景、約45点。045(701)7495。

市川征男水彩画展 16~22日、みつゝい画廊(関内駅徒歩4分)。静物と関東地区の風景、約50点。045(261)3321。

さくら展 16~22日、リープギャラリー(桜木町駅徒歩5分)。「さくら」をテーマにした5人の水彩・油彩約50点。045(253)7805。

三浦半島スケッチ会グループ展 16~22日、画廊喫茶「わんから」(三浦海岸駅徒歩8分)。17人の約40点。046(889)1321。

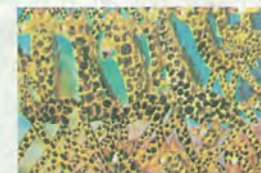
扉の中のドールズ展 17~22日、ギャラリー元町(石川町駅徒歩5分)。人形作家、Kino kosupaの作品。21・22日はミニ人形劇場も。045(663)7565。



扉の中のドールズ展から「ニャアブレイン」

手ぬいでつくる帽子展 17~22日、ミキモト横浜元町店2階(元町・中華街駅徒歩7分)。帽子作家・岩元啓子さんと生徒37人の約100点。NHK文化センター横浜ランドマーク教室045(224)1110。

緑園都市絵画教室展 17~23日、緑園都市駅構内ギャラリー。子ども~大人の絵画約100点。045(812)7374。



緑園都市絵画教室展から小学1年・真島大輝「キリンの行進」(第9回かながわ・よこはま どもアート大賞展「大賞」「そごう美術館賞」W受賞)

新六蔵作陶展 18~24日、杉田劇場ギャラリー(新杉田駅徒歩3分)。十数人の食器・花器など約150点。045(771)1212。

ハマ展受賞記念二人展 18~23日、鶴見画廊(鶴見駅徒歩2分)。小泉久美子さん(洋画)、徳永トキ子さん(日本画)の計約30点。045(584)7208。

程島広行作陶展 18~24日、ギャラリーダダB室(そごう横浜店9階、横浜駅東口)。絵唐津、朝鮮唐津、三島など。045(461)1533。

神奈川淡彩画会展 19~24日、馬車道アートギャラリー(関内駅徒歩5分)。51人の風景スケッチなど約120点。045(662)3111。

茜展 19~24日、さくら画廊(上大岡駅徒歩4分)。風景・静物など約25点。045(846)3987。

「おしゃれはがき」ファッション展 20~22日、サルビアホール3階ギャラリー(鶴見駅徒歩2分)。約400点。はがき作成体験あり。045(511)5711。

水彩画はなみずき展 20~22日、伊勢原市立中央公民館展示ホール(伊勢原駅徒歩13分)。はなみずき会会員の透明水彩画。0463(93)7500。

太田秀雄 油・水彩作品展「静物と風景」 21~27日、ギャラリーこやま(綱島駅すぐ)。静物・風景約25点。045(545)1105。

ピックアップ... 18~21日午前10時半~午後5時半(21日は午後1~5時)、リサイクルショップ・WEショップ相店(希望ヶ丘駅徒歩5分)で「11周年感謝半額セール」。衣料品・日用雑貨など全商品が半額に。045(364)3277。